

2018年(平成30年)3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2017年8月

(証券コード:4553)

まとめ

- ・ 売上高は前年同期比11.6%増。近年の追補品も順調に推移し、計画通りの進捗。
- ・ 売上原価率は55.7% (+0.7pt)。在庫の圧縮と減価償却費の増加が要因。ほぼ計画通りの進捗。
- ・ 営業利益率は10.6%。販管費は人件費および荷造費が増加したものの、研究開発費の費消の遅れが発生したことで減少。研究開発費は2Q以降で計画通りの費消をする見込み。
- ・ 経常利益は上記に加え、デリバティブ評価益(346百万円)が発生し、上半期計画を上回った。
前年同期比では前期に発生していた為替相場の急激な円高傾向に伴うデリバティブ評価損(2,143百万円)が発生しなかったことにより大幅な増益となった。
- ・ 2Q以降に販管費の費消が進む見込みであり、上半期および通期の計画は修正していない。

2018年3月期第1四半期 決算概要

- 売上高 : 近年の追補品も順調に推移し、増収
- 営業利益 : 主に研究開発費の費消の遅れにより販管費が減少し、増益

(単位: 百万円, %)

期 項目	18/3 1Q			17/3 1Q		
	金額	対売上高 比率	前年同期 比	金額	対売上高 比率	前年同期 比
売上高	22,513	100.0	+ 11.6	20,177	100.0	+ 3.8
売上原価	12,548	55.7	+ 13.0	11,103	55.0	+ 15.5
販管費	7,587	33.7	- 1.9	7,736	38.3	+ 13.7
営業利益	2,376	10.6	+ 77.6	1,338	6.6	- 55.6
経常利益	2,930	13.0	-	- 672	- 3.3	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,005	8.9	-	- 1,099	- 5.4	-

(為替レート: TTM)
1ドル

2017/6
112.00円

2017/3
112.19円

2016/6
102.91円

2016/3
112.68円

2018年3月期第1四半期 決算概要(計画進捗率)

- 売上高 : 計画通りの進捗
- 営業利益 : 2Q以降に販管費の費消が進み、上期・通期ではほぼ計画通りとなる見込み

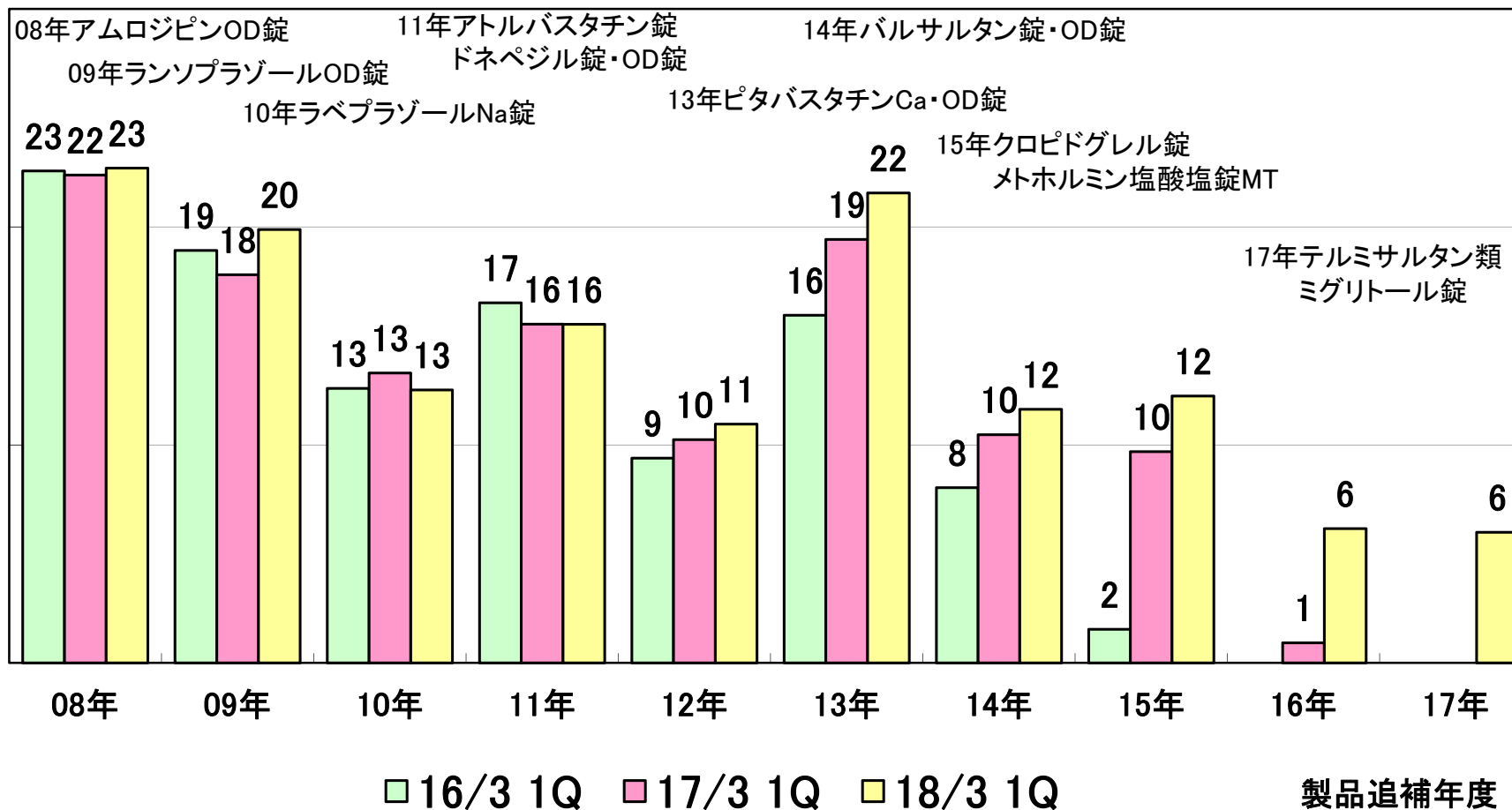
(単位:百万円, %)

期	18/3							
	1Q実績		2Q計画			通期計画		
項目	金額	対売上高 比率	金額	対売上高 比率	進捗率	金額	対売上高 比率	進捗率
売上高	22,513	100.0	45,000	100.0	50.0	94,000	100.0	24.0
売上原価	12,548	55.7	24,600	54.7	51.0	51,300	54.6	24.5
販管費	7,587	33.7	17,600	39.1	43.1	34,100	36.3	22.3
営業利益	2,376	10.6	2,800	6.2	84.9	8,600	9.1	27.6
経常利益	2,930	13.0	2,800	6.2	104.6	8,500	9.0	34.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,005	8.9	1,900	4.2	105.6	5,800	6.2	34.6

追補年度別売上高推移

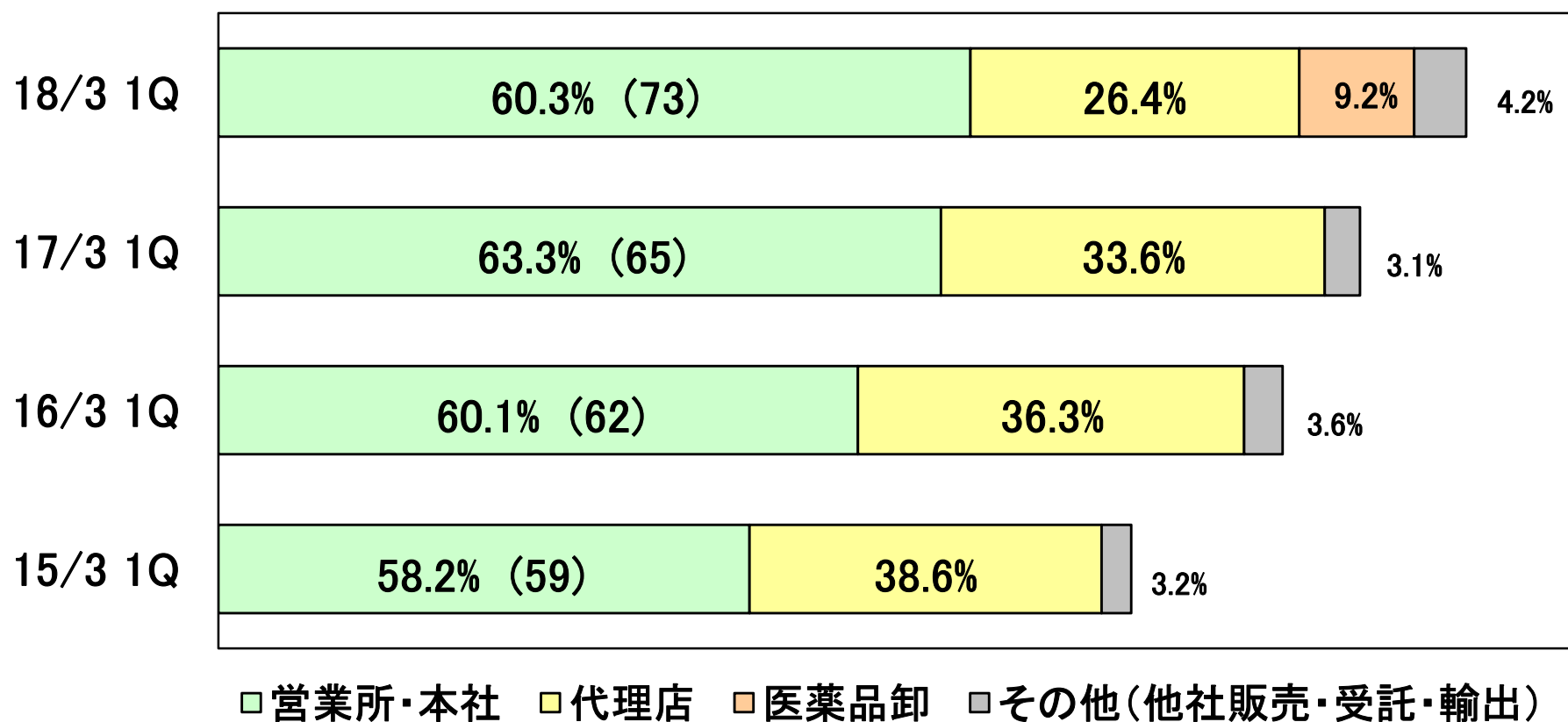
● 数量増で売上高が増加、近年の追補品も順調に伸長

億円
30



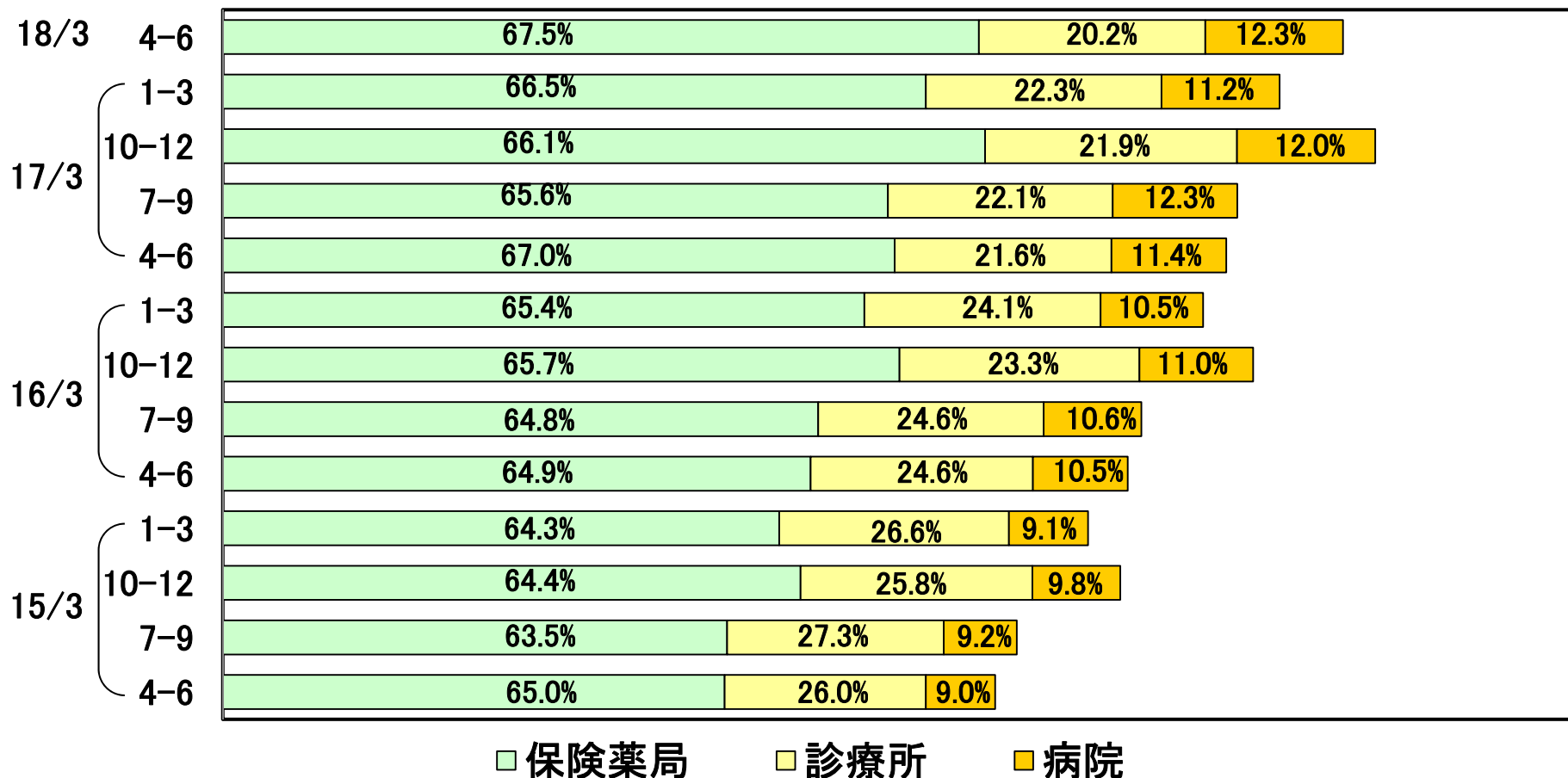
販路別売上高推移

- 営業所の新設、本社取引の拡大などにより、代理店比率が低下
- 今期より医薬品卸との協業を開始 ()は営業所数



納入先別売上高推移

● 保険薬局と病院の売上が順調に推移



(他社販売等を除く。診療所+保険薬局+病院を100%としている。)

販売費及び一般管理費

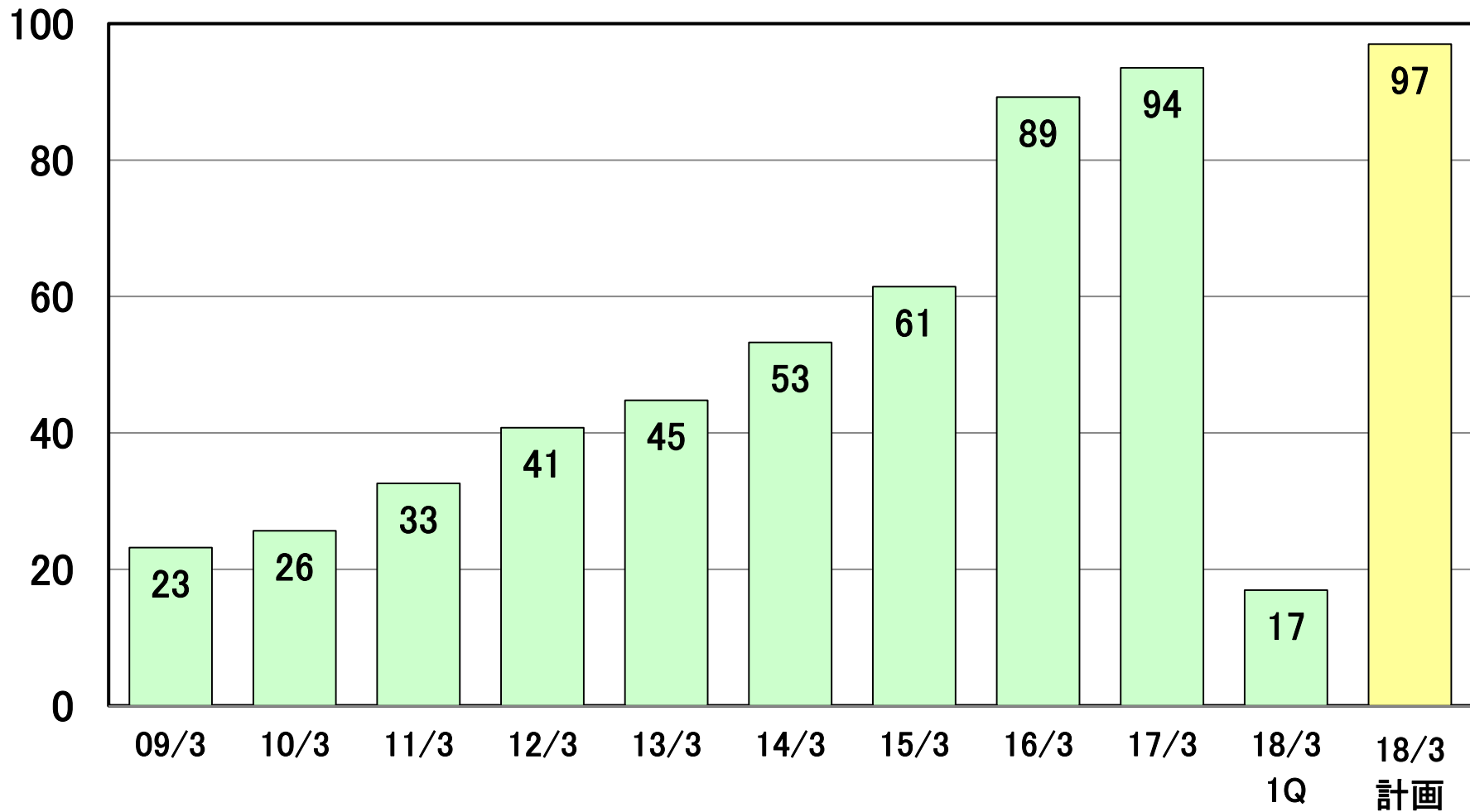
- 販管費は、前年同期比で1.9%減少
- 主に研究開発費の費消の遅れが要因であり、上期・通期ではほぼ計画通りとなる見込み

(単位:百万円, %)

期	18/3 1Q			17/3 1Q		
	金額	対売上高 比率	前年同期 比	金額	対売上高 比率	前年同期 比
人件費	3,411	15.2	+ 2.8	3,318	16.4	+ 11.4
研究開発費	1,695	7.5	- 13.8	1,966	9.7	+ 25.4
荷造費	528	2.3	+ 6.9	493	2.4	+ 37.1
減価償却費	271	1.2	+ 7.9	251	1.2	+ 13.5
広告宣伝費	141	0.6	- 34.7	217	1.1	- 23.9
その他	1,539	6.8	+ 3.4	1,488	7.4	+ 6.9
販管費	7,587	33.7	- 1.9	7,736	38.3	+ 13.7

研究開発費推移

億円



貸借対照表

- 商品及び製品の減少：在庫回転月数の圧縮（5.2ヶ月 前年同期比-0.5ヵ月）
- 建物及び構築物の増加：岡山工場改修工事が主な要因

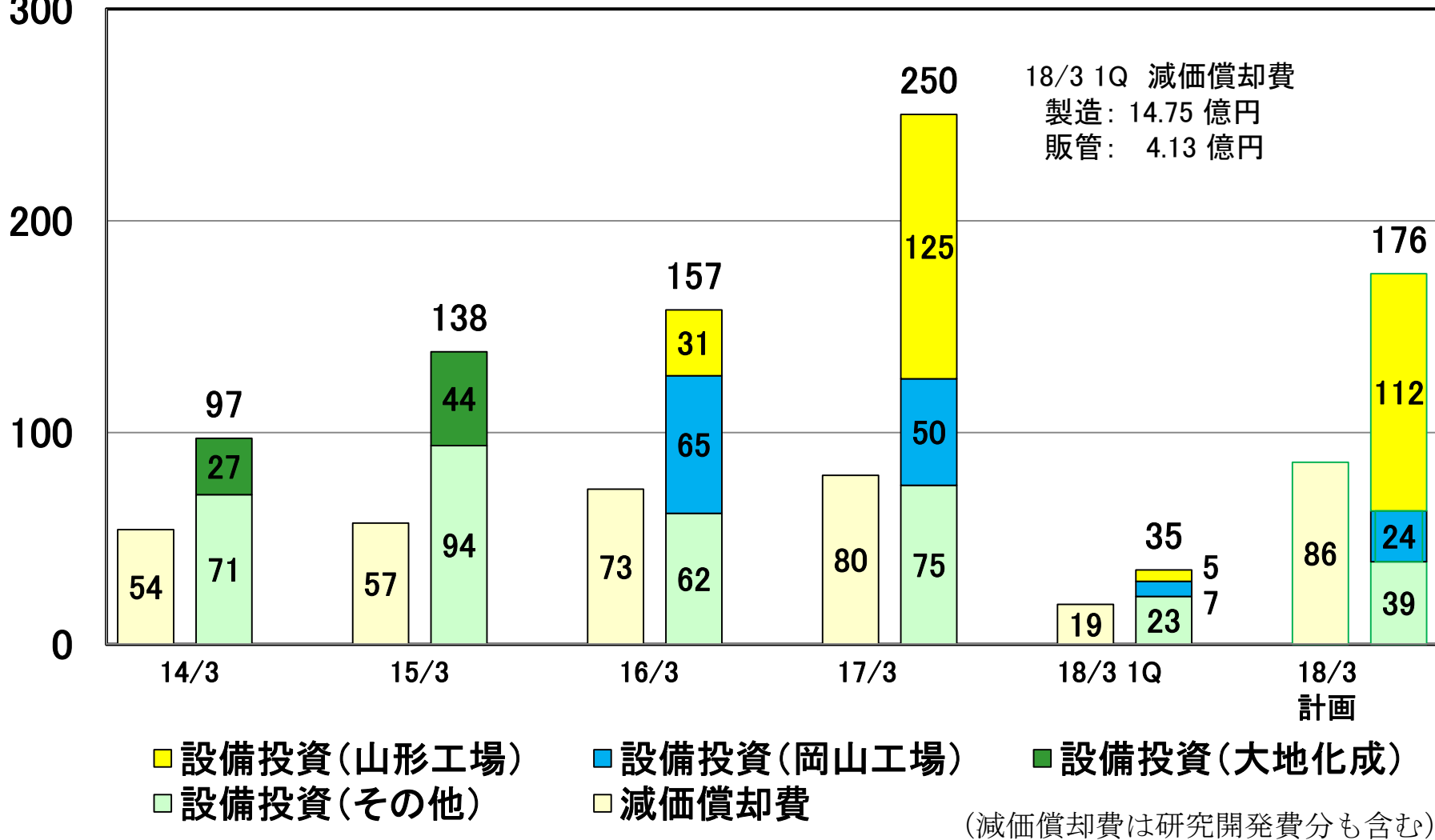
（単位：百万円）

項目	17/6	17/3	増減
現金及び預金	11,742	9,444	+ 2,298
受取手形 及び売掛金	20,678	19,627	+ 1,051
電子記録債権	6,203	6,597	- 394
有価証券	3,000	6,000	- 3,000
商品及び製品	21,194	22,510	- 1,316
その他流動資産	23,388	22,371	+ 1,016
流動資産計	86,206	86,552	- 345
建物及び構築物	31,691	29,830	+ 1,860
機械装置及び運搬具	15,125	15,148	- 23
建設仮勘定	18,175	18,279	- 103
その他固定資産	15,334	15,436	- 101
固定資産計	80,327	78,695	+ 1,631
資産合計	166,534	165,247	+ 1,286

項目	17/6	17/3	増減
支払手形 及び買掛金	5,543	5,309	+ 234
電子記録債務	7,209	7,455	- 246
1年内返済予定の 長期借入金	2,529	2,681	- 152
設備関係支払手形 及び未払金	11,504	10,365	+ 1,138
その他流動負債	8,356	8,788	- 432
流動負債計	35,142	34,601	+ 541
長期借入金	38,683	39,253	- 569
新株予約権付社債	15,054	15,056	- 2
その他固定負債	1,475	1,391	+ 84
固定負債計	55,213	55,701	- 487
負債合計	90,356	90,302	+ 53
純資産合計	76,178	74,945	+ 1,232
負債・純資産合計	166,534	165,247	+ 1,286

設備投資・減価償却費

億円
300



将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になるこ
とがある点を認識された上で、ご利用下さい。

<お問い合わせ先>

東和薬品株式会社 広報・IR室

ir@towayakuhin.co.jp

TEL : 06-6900-9102

FAX : 06-6908-6060